

学校だより

朝霞市立朝霞第四中学校
〒351-0012 朝霞市栄町5-1-60
TEL: 048-466-4711 FAX: 048-467-4744
E-mail: 4chuu@asaka-c.ed.jp

令和2年6月1日発行 第3号

目指す学校像 一人一人が輝く 明るく楽しい学校 あたたくきれいな学校

学校再開

校長 土橋 徹嘉

卯の花を 腐す長雨の 水始に 寄る木屑なす 寄らむ子もがも

これは、万葉集の梅雨を読んだ大伴家持の歌で、「卯の花を痛める長雨で水かさが多くなった川の流れの先に木の屑がいっぱい集まっています。・・・」という情景が詠まれており、当時の梅雨は時の流れが緩やかで雨音しか聞こえないような静かな時期であったように感じます。しかし、近年、梅雨の時期から集中豪雨による被害が各地で報告されています。木屑は流木となり、時に橋を破壊する報道も見うけられるなど、集中豪雨、台風、落雷などの場面が多くなったように思います。間もなく梅雨入りとなりますが、今一度、災害時の避難場所や対処の仕方を確認しておくことは大事なことだと思います。

さて、数年前に法律で”山の日”が制定されてから祝日がない「特別な」月は六月だけとなりましたが、今年はさらに特別な月になりました。ようやく3カ月振りに学校が再開され、生徒にとって新年度が本格的にスタートします。一方で、引き続き、特別な対応を行っていく必要があります。文部科学省で実施されたある懇談会が「新型コロナウイルス感染症対策の現状を踏まえた学校教育活動に関する提言」を出しました。その中で「学校における感染リスクをゼロにするという前提に立つ限り、学校に子どもが通うことは困難であり、このような状態が長期間続けば、子供の学びの保障や心身の健康などに関して深刻な問題が生じる。」として「社会全体が、長期間にわたりこの新たなウイルスとともに生きていかなければならないという認識に立ち、その上で、子供の健やかな学びを保障するということとの両立を図るため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ段階的に実施可能な教育活動を開始し、その評価をしながら再開に向けての取組を進めていくという考えが重要である。」と述べています。本校においても適切に対応してまいりますが、先日、学校再開にあたり、生徒と保護者の皆様にご協力いただきたい多くのことを文書でお知らせいたしました。毎日の登校前の検温、健康記録カードの提出、体調がすぐれないときには登校しない、マスクの着用、うがい・手洗いの徹底、ハンカチの持参等々、改めて、文書をご確認いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。それから、全国学力学習状況調査や学校総合体育大会など例年実施している幾つかのことが中止となりました。本校においても授業や行事等の計画をそれぞれに見直したり、取組方法等を変更したりと様々に対応しております。今後においても、急な変更や中止があることをご理解いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

休校期間中を振り返ってみれば、様々な対応で苦労した中であっても、知恵を出し合い、協力し合い、助け合い、励まし合いながら取り組んでいくことの大切さを再認識していました。特別な時間を暗い影とせず、新たなことを見いだせるチャンスなのではないかと感じています。「ピンチはチャンス」の言葉に前向きに頑張るときなのではないでしょうか。

最後に、本年度の一学期終了日は7月31日（金）、二学期開始日は8月21日（金）となり、それに伴い夏季休業期間は8月1日（土）から20日（木）に変更となりました。